



ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出合いや発見がきっとある

年頭のご挨拶



(財)北海道生涯学習協会

会長 新谷 淳治

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願いを申し上げます。

昨年の十一月初旬、札幌駅からタクシーで会議の場所に向かう途中、植物園の横にさしかかりました。とても鮮やかな黄葉に見入っており、その中間の歩道を颯爽と足早に前方を直視して通り過ぎていくお嬢さんが目に映り、とても爽やかに感じましたが、ふと耳にあてている携帯電話を見た一瞬、私はロボットのように見えませんでした。

その視線の先にある色鮮やかな黄葉に気づくことなく、季節の情緒などとは全く無縁なのだろうかと思うと、背筋が寒くなるような思いがしました。

現在「道民カレッジ」では北海道の人づくり、地域づくりを基本テーマとして運動を展開しております。そんな時、ふと私は島崎藤村の次の言葉を思い出します。

「血につながるふるさと」

心につながるふるさと

言葉につながるふるさと

とふるさとを語っている部分であります。

私は、「地域」を語る場合にも、その根底には、このような共通の認識がなければ、地に足の着いた運動にはなるまいと思います。

近年、NPOをはじめ、各種、各方面でのボランティア活動等、新しい時代環境に即応したコミュニティ運動が展開されているのはたいへん結構なことだと思えます。

二十一世紀は、「人間の世紀」とも言われておりますが、特に我が国は終戦後六十年目の大きな節目を迎えました。

私達は今、時代が求めている風を知り、果たすべき役割を人間として行う務めがあると思えます。

民間と政治が夫々の自立性と特性を生かしながらも協調し、公私一体となってコミュニティ活動を展開すべき時代と感じております。

改めまして、会員や関係機関の皆様には相変らざるご指導を賜りますようお願いを申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



目次

- 生涯学習海外研修事業…………… 2～3
- 平成16年度地域づくり人づくり事業…………… 5
- 視聴覚センターからのお知らせ…………… 3
- 生涯学習実践記録と研究論文のお知らせ… 5
- 道民カレッジからのお知らせ…………… 4
- 今金町の生涯学習…………… 6
- まなびの広場からのお知らせ…………… 4

生涯学習海外研修

(デンマーク・スイス・

イタリア・イギリス)

生涯学習ヨーロッパ研修回想録

大滝村 細川健司

ヨーロッパ研修の話が舞い込んだとき、私の脳裏には嬉しさの反面、強い不安がよぎったのはまぎれもない事実だった。

過去二回の海外旅行はインドと香港に行ったが、いずれも暑さと臭いで体調を崩した経験があり、自分のなかでは「もう東南アジアは無理」と、嫌な思い出たなって残っていた。その点いまだ行ったことのないヨーロッパには、変な嫌悪感がないのは不思議である。

ただ私は、職場でも名代のヘビースモーカーであり、過去三〇年近く毎日二箱のタバコを欠かしたことがないが、そんな不安はコペンハーゲンの空港に着いたときに消し飛んだ。「人間、吸えないと諦めたらガマンできるものだ。」と実感したものだ。

デンマークは緯度でいうと北海道よりかなり北なのだが、メキシコ湾海流の影響でそれほど寒くもない。それにしても初めて目の当たりにした北欧の建築物には感激した。

特に圧巻だったのはクリスチャンボ1城である。中世デンマーク風と北イタリア風、ルネッサンス風がミックスされた建築様式だそうだが、これぞヨーロッパと納得できるものであった。

コペンハーゲンで二泊した後、空路スイスのジュネーブへ向かった。ジュネーブはかつて国連の世界本部があった都市で、世界的にも有名であるのはいうまでもない。

ジュネーブの終日はあいにくの雨模様であったが、ローザンヌで飲んだワインが最高! 「さすが本場のワインは違う」とワインの味などさほどわかりもしない私だが、かつてに感激したのを覚えている。

スイスでは古い歴史を感じさせたモントルーのシヨン城が目焼きついている。

バスにてフランスのシャモニーへ、翌日はロープウェイで標高三八〇〇メートルを越すモンブラン展望トレッキングへ約二〇分かけて一挙に駆け登った。

観光気分の私は、「椅子に腰を掛けてモンブラン付近の山岳地帯の眺望を楽しみだろうな」と高を括っていたら大間違い、軽装の私は寒さと酸素の薄さで立ちくらみが止まらず、「この研修はサバイバルツアーか?」と憤りを感じたのを覚えている。それにしても、日本ではあの程度の設備で営業許可が下りるのだろうか、夏で天気もよければ最高の景色を満喫できるのでしようが。

旅も半ばに入り、さすがに日本食が恋しくなりかけた頃、同行していたあるご婦人が「あと何日したら日本に帰らなきゃいけないんですね。まだまだこちらに居たいですね。」と私に話しかけてきた。

以前から女の人は順応性が早いとはわかってはいたが、これほど逞しいものかと痛感したものでした。

イタリア、ミラノのゴシック式建築物には、ただただ感動するばかりであったが、二、三世紀をかけて建築する時代背景には、当時の建築技術がそうさせたのか、経済的問題か、それともイタリア人気質のせいなのか、詳しく歴史をひもといた事のない私には知るよしもないが、「すばらしい!」の一言につきる。

旅の最終地は、イギリスの首都ロンドン。想像していた以上に美しい都市でしたが、食のメインはジャガイモか? 「日本人だつてこんなにイモばかり食べないぞ」、ホームステイ先のお宅もイモづくし、さすがに違和感はないものの、イギリス人の質素さを垣間見ることができたような気がした。

そんなこんなで珍道中も終わり、無事日本に帰国することができました。最後にあたり、この研修を企画された北海道生涯学習協会事務局並びに同行された方々に、楽しかった研修旅行の思い出を頂いたことに感謝致します。また、機会があれば次回に妻とも思い出の地を旅したいと願っております。

研修では、三回にわたり公式訪問をしましたが、その事は職場の復命用にとっておくこととしてここでは触れませんが、本当に楽しい旅をありがとうございました。

みなさんは海外についてどのような印象をもっているでしょうか。顔が違う、色が違う、言葉が違う、治安が悪そう、遠い、さまざまな印象があると思います。僕は何かと理由をつけて敬遠していました。しかし、そんな僕が海外で生活してみたいとまで思った経緯をお話ししたいと思います。その一つは二カ国目のスイスでのできごとでした。スイスは人口七二〇万人、面積は九州を少し大きくしたあまり大きくない国です。スイスといえば僕の中では山、スイス銀行、時計、その程度の知識しかありませんでした。

その首都ジュネーブを中心に二日間の研修を行い、一日目は市内視察です。まず、街にいる人達を見て思った印象は「全然顔の違う人達が自然に生活を共有しているんだ。」ふと、そんなことを思いながらバスでオーヴィーブ公園に向かいました。ジュネーブの中には、大小合わせて約二〇個の公園があるらしく、確かに緑の多い町並みでした。普段から緑は見慣れている僕ですが、公園の中の木々は種類が違うのかとても新鮮に感じました。

続いての旧市街も元の城下街で、現在も街として人々が生活し、昔のおもむきを変えないため、派手な看板や広告を規制していることを聞き、「古き良きものを守る」というスイス人の心を感じさせる場所でした。最後に行ったシヨン城はレマン湖に囲まれ、青銅器時代から一八〇〇年の州所有までさまざまな人が戦い、征服、拡張し続けていった場所で、個人的に剣や盾や槍で戦う時代の映画を好んで見ている僕にとっては、本物を見て触れて感じてとても興奮しました。

しかし、そこであつた拷問や処刑、



生涯学習ヨーロッパ研修に参加して

共和町 浦口和也

みなさんは海外についてどのような印象をもっているでしょうか。顔が違う、色が違う、言葉が違う、治安が悪そう、遠い、さまざまな印象があると思います。僕は何かと理由をつけて敬遠していました。しかし、そんな僕が海外で生活してみたいとまで思った経緯をお話ししたいと思います。その一つは二カ国目のスイスでのできごとでした。スイスは人口七二〇万人、面積は九州を少し大きくしたあまり大きくない国です。スイスといえば僕の中では山、スイス銀行、時計、その程度の知識しかありませんでした。

その首都ジュネーブを中心に二日間の研修を行い、一日目は市内視察です。まず、街にいる人達を見て思った印象は「全然顔の違う人達が自然に生活を共有しているんだ。」ふと、そんなことを思いながらバスでオーヴィーブ公園に向かいました。ジュネーブの中には、大小合わせて約二〇個の公園があるらしく、確かに緑の多い町並みでした。普段から緑は見慣れている僕ですが、公園の中の木々は種類が違うのかとても新鮮に感じました。

続いての旧市街も元の城下街で、現在も街として人々が生活し、昔のおもむきを変えないため、派手な看板や広告を規制していることを聞き、「古き良きものを守る」というスイス人の心を感じさせる場所でした。最後に行ったシヨン城はレマン湖に囲まれ、青銅器時代から一八〇〇年の州所有までさまざまな人が戦い、征服、拡張し続けていった場所で、個人的に剣や盾や槍で戦う時代の映画を好んで見ている僕にとっては、本物を見て触れて感じてとても興奮しました。

しかし、そこであつた拷問や処刑、

そしてその死体を汚物同様、湖にすて
る。厳しい時代だったことをリアルに
伝えてくれる場所でもありました。

研修を終えホテルにもどり、部屋の
窓から夜の街並みを見下ると、街角
に女性が立っているのです。それもず
ーと・・・怪しいのです。誰かを待っ
てる感じもなく前を通る男性に声をか
けている。

僕と同室の國本は、その女性を観察
し続けました。すると、一人の男性が
立ち止まり何か話をしている。そして、
二人は近くの建物に消えていきまし
た・・・その他にもなぜか車を押し
て若い男性、僕達の間観察は深夜ま
で続き、不思議なスイスの夜でした。

寝不足のスイス二日目は、ジュネー
ブ日本人補習学校の視察がありました。
まずは在住日本人の佐田さんからス
イスの人種、経済について説明して
いただき、スイスはドイツ語圏の人々が
約六五%、フランス語圏の人々が約二
五%、約一〇%がイタリアなどの人々
だそうです。

人種もラテン系やユダヤ系など複雑
で、なぜ、「ひとつの国にさまざま
人種と二つの言葉が存在しているの
か」日本にいた時は考えもしなかつた
ことです。

さらに国民の人権がすべてで、法律
なども国民投票で決めていそうです。
しかし、内容によっては、ドイツと
フランスで意見が分かれてしまい、国
民投票でフランス語圏の人々が圧倒さ
れてしまう。一日目に街にいる人達を
見て思った印象のように「生活では人
種は共有している」しかし、「内容に
もよるが国民投票で人種が分かれてし
まっていいのか」「変わらないの
か・・・変わってほしい」と思い、深く
考えさせられました。

その他にも日本人補習学校の講師が
日本とスイスの文化の違い、その違い

によって起きた問題などを話してい
た。運動会でBGMをかけたなら不
議がられたりなど、知り、そして考え
充実した時間を過ごすことができまし
た。

日本しか知らない僕にとっては、各
国の建物、食、考え方、生活スタイル
や今まで書いてきたことは初めての経
験ばかりでした。すべてにおいて新鮮
で興奮し感動し考えさせられ、その経
験は僕にとって確実にプラスになりま
した。「生活すればもつともつと吸収
し、自分が大きくなるのではないか。」
敬遠していた出発前には考えられない
言葉ですし、そう思わせてくれるぐら
いすばらしい海外研修となりました。

共和町から行かせていただいた三人
の仲間との絆もより深まりました。二
〇〇枚ほど撮った写真も、記憶では補
えない一生の財産です。僕は日本が、
共和町が、好きです。今回、他の国々
と無意識にくらべ、もつと日本が、共
和町が、大好きになりました。

最後に、生涯学習協会主催の海外研
修に参加し、生涯学習協会の皆様は
じめ、世間の知らない僕にやさしいお
言葉やお力添えをくださった参加者
の皆様、トラブルつづきだったこの旅
を最後までまとめあげてくださった添
乗員の小野
寺さん、誠
にありがと
うございま
した。本当
に感謝して
います。こ
の経験を生
かし、これ
からの人生
を充実した
ものにして
いきたいと
思います。



視聴覚センターからのお知らせ

エル・ネット「オープンカレッジ」
録画テープ・補助資料・解説マニ
ュルをパッケージで貸出し中！

生涯学習推進センター（視聴覚セ
ンターを含む）では、全国の大学の
特色ある公開講座をエル・ネットで
配信し放映する「オープンカレッジ」
番組を録画し、補助資料・解説マニ
ュアルを併せ教材パッケージ化の開
発を行いました。

参加者を募集し、モデル事業を三
回実施しました。

七月には岩手大学の「啄木の短
歌・賢治の短歌」、九月は群馬県女
子大学の萩原朔太郎と「郷愁」から
「萩原朔太郎と蕪村」、十二月は「啄
木の風土・賢治の風土」でいずれも
八十名以上の参加を得て、熱心なも
のとなりました。

エル・ネット「オープンカレッジ」モデル事業
萩原朔太郎の世界
森原朝太郎と蕪村

補助資料

事業の進め方は、ビデオ上映の前
半、後半の前後に補助資料を使った
前説明、視聴後のまとめと解説とい
うスタイルで行いました。



録画テープの視聴



視聴後の解説

事後のアンケートでは「補助資料
が参考となった。」「解説があつて分
かりやすかった。」など好評でした。

視聴覚センターでは、この三回の
事業についてパッケージで貸出し
を行っていますので、社会教育の事
業やグループでの学習にご活用され
ますようお願いいたします。

好評、貸出し中！ 十八年度購入ビデオをはじめ

この数ヶ月、月に六十件ほどの貸
出し利用となっており、担当者とし
てはうれしく思っています。

また、この四月からはインターネ
ットでの教材検索や貸出しができる
ようになり、利用者の皆さんから好
評を得ています。

ご意見・ご要望を生かした教材整
備を進めますので、一層のご愛顧ご
利用をお願いいたします。

道民カレッジからのお知らせ

「道民カレッジ」の状況

(十二月十五日現在)

◆学生数が着実にアップ

- 平成十五年度末 一万四八六六八人
- 平成十四年度末 一万三三五七人
- 平成十三年度末 一万一〇二四人

◆講座数が大幅に増加

- 平成十五年度末……………九四九講座
- 平成十四年度末……………六四五講座
- 平成十三年度末……………二一三講座

◆称号取得者

- ・学士(一〇〇単位) 五三名
- ・修士(二〇〇単位) 二一名
- ・博士(三〇〇単位) 一一名

◆ほっかいどう学の具体策検討中

「ほっかいどう学」は、北海道を知るための学習講座に加えて地域づくりの実践方法について学ぶ学習プログラムです。

現在検討している「ほっかいどう学」出前講座は、こうした地域づくりをテーマに希望する市町村の要望に応え、市町村と道民カレッジが共同で地域課題に取り組む学習を検討しています。

今まで実施してきた「大学放送講座」スクーリングをバージョンアップさせ、道民自身が北海道づくり・地域づくりの主体として学習する参加型の学習方法を取り入れ、主体的な学びによって培われた知識と能力を生かし、北海道づくりや地域づく

りのリーダーを育成する人材育成プログラムの開発を模索しているところです。

「大学放送講座」スクーリング

十一月六日(土)の函館市を皮切りにスタートしたスクーリングも終盤を迎えました。近くの方は是非参加してみませんか。

- 一月十三日(木) 十八時三十分
- ・場所 北広島市芸術文化ホール
- ・講師 北海道医療大学

- 一月十七日(月) 十三時
- ・場所 かでる2・7 四階会議室
- ・講師 北海道情報大学

- 一月二十八日(金) 十九時
- ・場所 帯広市とかちプラザ
- ・講師 札幌大学

- 二月七日(月) 十三時
- ・場所 かでる2・7 四階会議室
- ・講師 北海道教育大学

- 二月五日(土)
- ・場所 札幌大学
- ・講師 佐藤郁夫 教授



「大学放送講座」再放送

◆放映時間 午前二時五十分

- 一月二十日(土)
- 「脳卒中の予防とリハビリテーション」
- 札幌医科大学 吉尾雅春教授
- 一月二十九日(土)
- 「市民活動で多様な社会生活を」
- 札幌大学 佐藤郁夫教授

- 二月五日(土)
- 「もうひとつの北海道文学」
- 北海道教育大学 小林真二助教授
- 二月十二日(土)
- 「教育におけるeラーニング」
- 北海道情報大学 藤井敏史助教授

- 二月十九日(土)
- 「農・水産業の新展開を目指して」
- 北海道東海大学 上瀧 實教授
- 二月二十六日(土)
- 「建機の極意」
- 北海道医療大学 堀田清助教授

▼テレビ視聴と併せて、レポートの提出もお待ちしております。

学びの広場からのお知らせ

▼「学びの広場」の利用案内▲

かでる2・7の九階にあります「情報交流広場」(まなびの広場)では、道内各市町村のPRや様々な生涯学習関係団体の活動紹介・展示等の発表の場を無料で提供しています。

月平均一万二千人の方が訪れるこの場所で、特に市町村で取り組まれているイベントPRや施設の紹介・作品展示会場等として、是非ご利用をお待ちしています。なお、一月下旬に応募要領は各市町村へ送付します。

◆まなびの広場面積 約一四八㎡

◆固定展示ケース 二カ所

◆貸出可能備品

- ・移動展示パネル 四台
- ・移動展示ケース 一台
- ・置物台 一台
- ・展示案内板 一台
- ・マグフック 三〇個
- ・パーテーションフック 四〇個
- ・長机 三台
- ・資料置き台 三〇〇本
- ・カラーピン 一台
- ・ピンタックキット 三組
- ・その他(画鋏・セロテープ)

事務用品・オフィス家具・OA機器・教育機器 販売

オフィス・ノルテ

有限会社

〒005-0006
札幌市南区澄川6条6丁目2-5
TEL 011-811-9958
FAX 011-811-9959

平成十六年度地域づくり人づくり事業

「浦河町まちづくりボランティアフェスティバル」

十一月二十八日(日)に、第二回の「地域づくり人づくり」事業が、日高管内浦河町の総合文化会館「ふれあいホール」で、浦河町学習指導ボランティア研修会も兼ねて、「まちづくりボランティアフェスティバル」として開催されました。

町の色々なボランティア団体や多くの地域リーダーが参加し、会場には参加団体の展示や作品販売コーナー等も設置され、盛会にフェスティバルが行われました。

基調講演では、北海道医療大学の長谷川 聡助教から「はじめよういろいろなボランティア」と題してご講演をいただき、NPO法人「飛んでけ!車いすの会」の活動や芸能サークル「生きがい探偵団」の活動



等を紹介し、ボランティア活動の大切さとその秘訣を説いた。

中でも、ボランティア活動をするに当たっては、「お金」「時間」「身体」「あたま」「こころ」の五つの余裕が必要であり、「やる気」と「笑顔」と「普通の人」を心がけ、仲間をつくるのが大事であるとお話をいただいた。

結びに、佐々木先生から、ボランティアをする人は、まず自分の生活をきちんとやること、あなたが世話いらずの人でなければいけないとの心構えを話されました。



昼食には、「浦河べてるの家」の協力による「そば」が振る舞われ、午後からは、浦河町教育委員会の浅野浩嗣社会教育課長補佐によるゲームが行なわれ、自分のできそうなボ

ランティア活動を見つけて、「浦河ボランティア暦づくり」を行った。

最後に、三つのボランティア団体からの事例発表が行われ、事例発表を受けて、参加者同士の熱心な討議が交わされた。

- ・一つ目は、「華・花俱樂部」会長の佐藤公昭氏から「環境美化ボランティア」の活動について

- ・二つ目は、「東町第5自治会シルバークラブ」会長の木下富雄氏から「青少年健全育成ボランティア」の活動について

- ・三つ目は、「老人とともに歩む会」会長の森充子氏から「高齢者福祉ボランティア」の活動について

で、ボランティア活動を通じた浦河町の「まちづくり人づくり」の意欲が伺えるフェスティバルであった。

生涯学習実践記録と
研究論文募集のお知らせ


生涯学習実践記録と研究論文を募集しています。
締切りは1月20日(木)です。(当日消印有効)

- ◎ テーマ
 - ★わたしの生涯学習 (社会参加、ボランティア、リカレントなど)
 - ★わがまちの生涯学習 (市町村・学校・民間・地域における取組など)
 - ★これからの生涯学習 (あなたの夢やビジョン、新しい時代への提言、ITを活用した取組、国際的な活動)

- ◎ 応募の方法
 - ☆原稿 4000字(400字×10枚)程度
表紙に郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記してください。
 - ☆問い合わせ・送り先
財団法人北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北二条西七丁目
かでの2・7 9階
電話 011-281-6661
FAX 011-281-6664

多くの皆様の応募をお待ちしています。(副賞有り)


知的 快適 創造的なオフィス創りで貢献する
サンコー事務機株式会社
代表取締役 澤 飯 博
〒060-0013
札幌市中央区北13条西18丁目36番90
Tel (011) 614-2255 (代表)
Fax (011) 614-5245
E-mail sawai@sancoh.gr.jp
Homepage http://www.sancoh.gr.jp/

札幌支店 支店長
斉 藤 誠
赤い風船とMACH

国内・海外
視察・研修ツアー
は当支店まで
〒060-0061
札幌市中央区南1条西4丁目
日本旅行札幌ビル4F
TEL 011-208-0170
FAX 011-208-0174

今金町の生涯学習

今金町学社融合ファイル

●学社連携・融合

「いつでも、どこでも、だれでもが、なんでも」学び、学んだことが適切に評価される「生涯学習社会」の到来がうたわれ、今金町においても、芸術・文化・スポーツ活動から教養、学習、趣味に至るまで幅広い分野での活動が展開されています。

今金町の未来を担う青少年を育成するために、従来から学社連携・融合を図りながら、学校教育の充実と地域社会の教育力を高めていくことの重要性が指摘され、各方面においてその努力がなされてきました。

●教育資源の横断的活用

生涯学習社会における学校教育のあり方についての論議も盛んになりつつあった平成十四年度、この年から、学校教育の教育課程に「総合的な学習の時間」が位置づけられ、その取組みの中で、改めて学社連携・融合を図ることの重要性とともに、地域に存在する多様な教育資源を横断的に活用することが望まれるようになってきました。

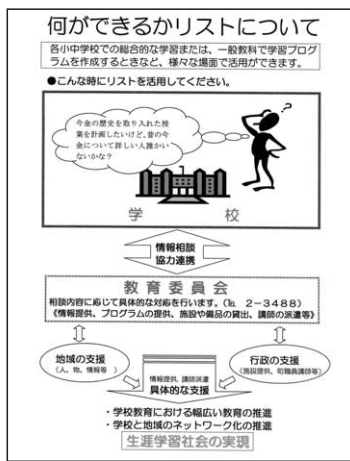
●教育資源情報の共有と活用

そこで、社会教育（地域社会を含ま

む）と学校教育がお互いに求める教育資源情報を収集し、相互理解に基づく活用が図られるよう「今金町学社融合ファイル」地域と学ぶ学校づくりを願って」を作成しました。

●学習機会の提供

ファイルには学習機会の提供として「今金町何ができるかリスト」にスポーツ、芸術・文化・趣味、教養・歴史・自然、行政提供、農業の五分野にわたって指導・説明ができる講師派遣等の情報を掲載しました。



●学習活動施設等情報

さらに、学習活動施設等情報として、学習活動施設マップ、各学習活動施設等の利用情報、学習活動に利用できる車や貸出し可能な備品一覧も掲載し、使い勝手を良くしました。

●幅広い情報提供

「今金町何ができるかリスト」の分野別メニューは「今までの人材バ

ンクより使いやすい。」と町民にも好評です。

さらに、各学校の年間計画と社会教育と町の事業のスケジュール表や学校教育での調査物の年間スケジュール表、教育マップなども盛り込み幅広い情報の提供に努めました。

●学社融合ファイルの活用

学社融合ファイルから、地域の学校として地域の歴史や伝統的な料理を学ぶなど様々な分野での活用が始まっています。



ファイルを活用した事例

●今後の展望

今年度より始めた事業ですが、これで完成ではなく、各学校の取組みの調査や情報の精査などから、内容の充実に向けてまいります。

(今金町教育委員会社会教育主事 早坂 靖)

眺めの良い喫茶店！

「かでの2・7」9階

喫茶つぐみ

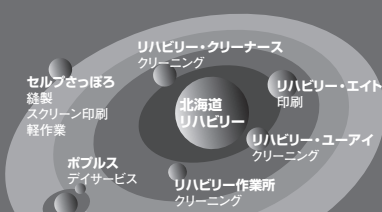
営業時間 9:00~17:00 (日祭日除く) 道庁内線 36-341



¥260

コーヒーの他各種飲み物、軽食もごぞいます

全ての人に、働く権利と喜びがあります。



社会福祉法人北海道リハビリ

〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1 TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051 www.selp.net

編集後記

明けましておめでとうございます。明けておめでどうございます。会員の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年でありますようご祈念申し上げます。昨年一年を「文字で表すと『災』という漢字でありましたが、今年は災い転じて『福』となりますよう期待しているところです。道民カレッジをはじめ協会の事業も順調に成果を上げているところであります。本年も新谷会長を先頭に北海道の生涯学習が西年にちなんで大きく翔たくよう努力して参りますので、ご支援くださいますようお願い申し上げます。